

言語を持つ心を明らかに！

認知脳科学の研究成果から

令和 7 年 9 月 6 日（土）

開場 13:00

開始 13:30

終了 17:00

エステック情報ビル

21 階 D 会議室

<https://stec-jbldg.co.jp/conference>

新宿駅西口地下ロータリーから都庁方面へ徒歩 3 分

定員 35 名

（先着順・9 月 3 日メ）

<https://forms.gle/W1EVESQzeS47eEcA6>



東京学芸大学

先端教育人材育成推進機構
上廣道德・倫理教育研究開発推進室

042-329-7783

kokoro@u-gakugei.ac.jp

<https://kokoro.u-gakugei.ac.jp>

講演者・シンポジスト

酒井 邦嘉

東京大学大学院教授

シンポジスト

鹿毛 雅治

慶應義塾大学教授

シンポジスト

長谷川真里

東北大学大学院教授

コーディネーター

澤田 浩一

國學院大學教授

子どもが『言語』を習得して活用することができる、ということは子どもの成長とともに学校の教育活動の最も重要な issue だと考えます。それはなぜでしょうか。『言語』が子どもの思考を司り、ものごとの判断、そして自分の考えなどを表現する際に重要な役割を担っているからです。そこで、『言語』の習得とともに『言語を持つ心』について最新の脳科学などの研究成果から『言語』という視点から子どもの心の在り方から行動規範について講演とシンポジウムを通して考えたいと思います。